

令和7年度 大阪府泉州保健医療協議会 議事概要

日時: 令和8年2月2日(月)午後2時から午後4時

開催場所: 南海浪切ホール 4階 特別会議室

出席委員: 委員総数 46 名のうち 37 名出席(定足数 24 名であるため有効に成立)

武本委員、矢田委員、浦田委員、松若委員、青木委員、上嶋委員、岩田委員、此木委員、板橋委員、辻内委員、北野委員、平松委員、炭谷委員、西村委員、道明委員、八田委員、松岡委員、藤本委員、野上委員、亀山委員、河崎(敦)委員、清水委員、岩本委員、山原委員、津塩委員、松田委員、田中委員、泥谷委員、藤原(弥)委員、藤原(一)委員、佐藤(信)委員、塔筋委員、佐藤(績)委員、大濱委員、竹中委員、二重委員、赤阪委員

■議題1 令和7年度「地域医療構想」の取組と進捗状況

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明。

- 【資料1-1】 令和7年度「地域医療構想」の進捗と医療体制の状況(大阪府・泉州二次医療圏)
- 【資料1-2】 泉州二次医療圏における課題や取組状況等に係る各医療機関の回答(概要)
- 【参考資料1】 過剰な病床の状況(令和6年度病床機能報告)
- 【参考資料2】 医療法上の過剰な病床の状況(令和6年度病床機能報告)
- 【参考資料3】 地域医療構想に関する各種データのHP 公表について

<質問・意見等>

【在宅医療】

○大阪府・泉州圏域とも、訪問診療を実施している病院・診療所の件数は微増で推移しているが、訪問診療件数は大きく増加しており、1医療機関あたりの負担が大きくなっている。一方、「要介護認定者の将来推計」では、大阪府と泉州圏域とも、要介護認定者はそれほど伸びていない。在宅医療に必要な連携を担う拠点として、在宅訪問診療所を増やそうとしても増えないため、在宅医療になる人々を減らすための取組をしていきたい。その効果指標として、訪問診療の件数、要介護認定の件数の推移を提示していただきたい。

○在宅医療における、休日・夜間を含む 24 時間の入院受入体制の確保について、1つの医療機関だけで診るのは在宅医療でも入院でも負担が大きい。在宅医療に必要な連携を担う拠点として連携の役割を担えるよう、医療機関の負担を軽減する取組をしていきたい。また、どれだけ各病院の負担が減っていくか、みていただきたい。

【救急医療】

○救急について、軽症の搬送が減るよう、地区医師会を中心として住民への啓発も検討したい。その効果が表れるような評価指標の提示をお願いしたい。

■議題2 令和7年度泉州二次医療圏における各病院の今後の方向性

資料に基づき、和泉保健所から説明。説明後、質疑応答。

- 【資料2-1】 令和7年度病院プラン結果概要(大阪府・泉州二次医療圏)
- 【資料2-2】 令和7年度病院プラン医療機関別一覧(泉州二次医療圏)
- 【資料2-3】 非稼働病床の現況について(泉州二次医療圏)
- 【資料2-4】 令和7年度 泉州二次医療圏病院連絡会結果(概要)
- 【資料2-4(別添)】 令和7年度 泉州二次医療圏病院連絡会参加率と病院プラン提出状況
- 【参考資料4】 病床機能の再編支援事業・重点支援区域について
- 【参考資料4(別紙)】 令和7年度病床機能再編支援事業の実施について(申請病院一覧)
- 【参考資料5】 令和6年度病床機能報告結果(有床診療所の報告状況)
- 【参考資料5(別紙)】 令和6年度病床機能報告結果(泉州二次医療圏有床診療所の報告状況)

<1 質問・意見等>

【各病院の対応方針(病院プランにおける2025年に検討している病床機能等)】

○奥村病院、高石藤井病院、藤井病院の再編統合

病院連絡会の出席者より、不足している回復期病床から過剰な慢性期病床への転換について指摘があった。それを踏まえて、対応があったのか伺いたい。

(大阪府の回答)

病院連絡会の意見を踏まえ、本日は医療法人良秀会に出席いただいた。不足している回復期病床を増加し、慢性期病床については減少するという説明があった。休棟中の病床が元々どういう機能かという認識が、資料と説明で少しずれがあると思われる。良秀会より、休棟中の27床が減少し、慢性期が18床増加することについて説明をお願いしたい。

(医療法人良秀会の回答)

休棟中の奥村病院は元々、27床の慢性期機能を有している。資料には休棟が別立てで書かれているため少し誤解を招きやすいが、法人としては回復期病床を9床増加、慢性期病床を9床減少する。見かけ上は高石藤井病院の慢性期病床が増加しているように見えるが、法人全体としては慢性期病床を減少する方針である。

○貝塚記念病院、東佐野病院の再編統合

貝塚徳洲会病院(仮称)について、同一法人での合併だが、地域をまたいでいる。泉佐野市から32床の回復期病床と47床の慢性期病床がなくなる。合併に関して、地元の医師や地域の医療機関にヒアリングはあったのか。少なくとも地元医師会には説明がなかった。管轄の保健所は説明を受けたのか、お聞きしたい。

(保健所の回答)

この件に関しては説明を受けていない。

(委員)

地域をまたいで病床を勝手に動かすのは、同一医療法人であれば問題ないのか。

(保健所の回答)

同じ泉州二次医療圏内であり、同一の地域内という判断となる。

(委員)

地元の医師たちにとっては、寝耳に水。病院がなくなるため、事前に説明するなど、もう少し地元医師会に配慮していただきたい。

<2. 決議結果>

【各病院の対応方針(病院プランにおける2025年に検討している病床機能等)】

・各病院の対応方針については、全て合意となった。

■議題3 紹介受診重点医療機関の選定について

資料に基づき、保健医療企画課、和泉保健所から説明。説明後、質疑応答の上、紹介受診重点医療機関の選定にかかる協議方針、紹介受診重点医療機関の選定について決議。

【資料3-1】紹介受診重点医療機関の選定について

【資料3-2】令和7年度外来機能報告等 医療機関別報告状況(泉州二次医療圏)

<1. 質問・意見等>

特になし。

<2. 決議結果>

令和7年度外来機能報告等に基づく紹介受診重点医療機関の選定

【協議方針】

・協議方針について、事務局案のとおりとなった。

【紹介受診重点医療機関の選定】

・市立岸和田市民病院、泉大津急性期メディカルセンター、市立貝塚病院、和泉市立総合医療センター、りんくう総合医療センター、医療法人徳洲会岸和田徳洲会病院、医療法人龍志会IGTクリニック、地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センターについて、紹介受診重点医療機関として選定することになった。

■議題4 地域医療への協力に関する意向書等の提出状況

資料に基づき、和泉保健所から説明。説明後、質疑応答。

【資料4-1】 地域医療への協力に関する意向書提出状況(泉州二次医療圏 診療所新規・既存開設者)

【資料4-1(別添)】 <医療機関別回答一覧> 地域医療への協力に関する意向書提出状況
(泉州二次医療圏 診療所開設者)

【資料4-2】 医療機器の共同利用に関する意向書提出状況
(泉州二次医療圏 医療機器新規購入・更新者)

【資料4-2(別添)】 <医療機関別回答一覧> 医療機器の共同利用に関する意向書提出状況
(泉州二次医療圏 医療機器新規購入・更新者)

<質問・意見等>

特になし。

■議題5 第8次大阪府医療計画における取組状況の評価について

資料に基づき、和泉保健所から、説明。説明後、質疑応答。

【資料5-1】 第8次大阪府医療計画 PDCA 進捗管理 泉州二次医療圏

【資料5-1(別添)】 令和7年度 泉州圏域 懇話会開催状況

【資料5-2】 令和7年度 泉州在宅医療懇話会における主な意見(概要)

【資料5-3】 積極的医療機関一覧(泉州二次医療圏)

<1. 質問・意見等>

特になし。

<2. 協議結果>

令和8年度更新分の積極的医療機関一覧について、意見なし。

■議題6 令和7年度基準病床数の見直しの検討

資料に基づき、保健医療企画課から説明。説明後、質疑応答。

【資料6】 令和7年度基準病床数の見直しの検討について

<質問・意見等>

特になし。

■議題7 地域医療連携推進法人の認定について

(1)資料に基づき、保健医療企画課及び一般社団法人いのちとくらし支援ネットワーク代表理事から説明。説明後、質疑応答。

【資料7-1】医療法第70条の2の規定による地域医療連携推進法人の認定申請にかかる「医療連携推進方針」に対する意見について

<1. 質問・意見等>

○岸和田市に本部がある当該法人について、地元医師会は報告・相談を受けていない。和泉市中心の対応になっている。地域全体にもう少し丁寧に説明すべきではないのか。

(一般社団法人いのちとくらし支援ネットワークの回答)

今後、対応させていただく。

<2. 協議結果>

・地域医療連携推進法人の認定については、「申請法人は、本協議会の求めに応じ、その活動状況等を報告すること」を条件とし、認定に同意となった。

(2)資料に基づき、保健医療企画課及び地域医療連携推進法人泉州北部メディカルネットワーク理事から説明。説明後、質疑応答。

【資料7-2】地域医療連携推進法人の「医療連携推進方針」の変更に対する意見について

<1. 質問・意見等>

特になし。

<2. 協議結果>

・法人の医療連携推進方針の変更については、「申請法人は、本協議会の求めに応じ、その活動状況等を報告すること」を条件とし、区域変更に同意となった。

■議題8 地域医療支援病院の名称承認について

資料に基づき、保健医療企画課及び泉大津急性期メディカルセンターから説明。説明後、質疑応答。

【資料8-1】地域医療支援病院について

【資料8-2】地域医療支援病院の承認申請について

<1. 質問・意見等>

○泉大津急性期メディカルセンターは、地域医療支援病院の候補としてしっかり担っていただいている。泉大津市以外にも、和泉市、高石市、岸和田市の一部まで受け入れていただいている。地域医療支援病院の承認を推薦する。

<2. 協議結果>

・泉大津急性期メディカルセンターの地域医療支援病院名称承認について同意となった。